

令和7年度品川区いじめ根絶協議会（第2回）

議事録要旨

1 日時

令和8年1月30日（金）午後1時10分から午後3時40分まで

2 会場

品川区立芳水小学校

3 内容

- (1) 委員長挨拶
- (2) 品川区教育委員会教育長挨拶
- (3) 委員紹介
- (4) 授業見学
第3学年いじめ予防授業（「非認知スキル教育プログラム」の実践）
- (5) ○報告
ア 品川区立学校におけるいじめの現状といじめ防止等に関する主な取組について
イ 芳水小学校のいじめ根絶の取組について
○グループ協議・発表
テーマ「事例検討から考える、学校・家庭・地域ができること」
- (6) 委員長まとめ
- (7) 品川区教育委員会教育次長挨拶

4 出席者

委員一覧のとおり

5 報告要旨

- (1) 品川区立学校におけるいじめの現状といじめ防止等に関する主な取組について
【教育総合支援センター指導主事】
 - ・区立学校におけるいじめの現状について説明
 - ・区教委におけるいじめ防止等に関する主な取組（レジリエンス育成の推進・いじめ予防授業等）について説明
- (2) 芳水小学校のいじめ根絶の取組について
【芳水小学校生活指導主任 主幹教諭】
 - ・学校の組織的な取組（調査ツール、校内会議、市民科授業等）について説明
 - ・児童を中心とした取組（あいさつ運動、異学年交流体験等）について説明
 - ・地域、家庭への取組と周知の啓発（保護者会、学校公開、市民科授業地区公開講座等）について説明

6 グループ協議 協議内容発表

○協議テーマ「事例検討から考える、学校・家庭・地域ができること」

(グループ1)

- ・いじめ対応において、保護者の信頼を得られることが大切。学校内の情報共有のあり方や、個々のケースにより福祉や医療との連携がとれているかなど、様々な観点から検討することが重要である。
- ・特別支援など福祉的支援への理解をより一層推進し、児童が安心して学校生活を送れるようなフォロー体制を、日頃から整えることも大切である。

(グループ2)

- ・保護者から学校の対応について意見を伝えられることも多くなっている。保護者の視点をもつこと、あわせて地域の視点をもつことも大切である。地域ぐるみの取組みを活性化し、子どもたちや保護者が地域において活動する機会や、つながれるコミュニティがあることが必要だと感じた。

(グループ3)

- ・保護者の不安を拭えないことにより、いじめ対応が長期化することがある。「不明」があれば「不安」になり、それが「不満」につながるため、初期段階で学校と保護者が話し合い、問題点や解決すべき点を明確にし、不明な点や不安を解消していく必要があると感じた。
- ・いじめ問題を解決するにあたり、児童・保護者・学校が関係性を築いて合意形成を図る必要があると思う。

(グループ4)

- ・いじめ対応をするにあたって、学校の対応と保護者の意向が異なる場合がある。保護者と学校が話し合うなかで信頼関係を築き、双方が同じ方向を向けるようにすることが大切だと感じた。
- ・保護者の気持ちを汲み取りながら、学校だけではなく学校以外の場でも子どもの悩みを相談できる窓口を紹介するなど、ニーズにあった支援を行うことが大切ではないか。

7 まとめ（委員長）

- ・今回のグループ協議では、1つのテーマを中心にグループの中でそれぞれの立場から意見交換をしていただいた。多くの児童が在籍する学校において、児童それぞれが得意なところや苦手なところがあり、成長しながら人間関係を築けることが大切である。
- ・学校では、保護者との関わり・信頼関係の構築も重要である。学校だけで保護者対応をするのではなく、保護者同士のつながりや、家庭と地域のつながりを深め、地域全体で支えられる仕組みを作ることが大切だと感じた。
- ・学校のいじめ予防授業を実際に見学し、子どもたち自ら、本日の協議会に参加した委員や教員へ直接話を聴くというインタビューの機会があったことが特に興味深かった。インタビューを行うことで、子どもたちにとって「知らない人」から「顔見知りの人」になるきっかけとなる体験ができるのではないか。地域の中で人と人がつながりをもつうえで、いじめ予防授業を通じてこのような感覚を味わうことは、子どもたちが地域との絆作りを考える良いきっかけになるのではないか。